



スタート

内から、逃げを主張した②エーシンモアオーバー
⑤グラツィアが、すかさず2番手をキープする
その動きを見ながら⑩サミットストーン・吉原が...

第34回 白山大賞典 JpnⅢ

3歳以上 (中央・地方全国交流)

10月7日 金沢 10R 2100m:重

馬番	馬名	所属	体重	性別	年齢	斤量	騎手	着差	タイム	人気上がり
2	エーシンモアオーバー	JA	514	牡	8	57	岩田康	2125	④ 38.8	
10	サミットストーン	船橋	553	牡	6	54	吉原寛	3/4 2126	② 38.1	
5	グラツィア	JA	490	牡	6	54	濱中俊	3 2132	③ 39.0	
4	ソリタリーキング	JA	464	牡	7	56	戸輪圭	1 2134	① 38.6	
7	ランフォルセ	JA	500	牡	8	58	三浦皇	11/2 2137	⑤ 38.8	
9	マイネルリボン	金沢	472	牡	4	54	池田敦	7 2151	⑦ 38.8	
1	リワードレブロン	高知	494	牡	6	54	岡村卓	クビ 2151	⑨ 39.2	
3	セイカアレグロ	金沢	531	牡	9	54	吉田晃	3/4 2153	⑥ 40.4	
6	キーパー	金沢	468	牡	6	54	桑野等	8 2170	⑧ 39.3	
8	ヤマチョウサン	金沢	468	牡	8	54	藤田弘	2 2174	⑩ 39.5	

ハロン 12.62 上り 50.7 38.8 ハイペース

S 前 2,5,10,3,4,7,1,9,8,6 ①出遅れ
2 角 2,5,10,3,4,7,1,9-8,6
3 角 2,5,10,4,7,3-1,9-8,6
4 角 2,5,10,4,7,3,(1,9)-6,8

馬単 ②-⑩ 2190 円

3連単 ②⑩⑤ 8870 円



逃げ切りを図る②エーシンモアオーバー
食い下がる⑤グラツィア。その外から
⑩サミットストーン・吉原が襲いかかる
大外、一番人気④ソリタリーキングも



闘い終わって...

おつと!
引き上げてきた時は
写真判定の結果...

頭差で
1 着 10 サミットストーン
2 着 4 ソリタリー
3 着 5 グラツィア
でした...?

レースを振り返る
岩田康誠騎手



第34回を迎えた白山大賞典。中央・地方全国交流になっ
てから、地方馬の優勝はない(馬インフルで中央不参加の
年除く)。はたしてナムラダイキチで、との金沢地元の願
いもむなく欠場。下馬評は中央4頭に南関・船橋のサミ
ットストーン(昨年金沢在籍)の計5頭の争い。中でも総合
力で④ソリタリーキングが一步抜き出した人気。さて勝敗
の行方は...。その大きな要因となったのは前日の雨。水
が引いた当日はビシッと締り、朝から普段より2秒は速い
勝ち時計。

となると白山もかなりハイレベルの予感。気持ちよく先手を取った②エーシンモアオーバー・岩田騎手は予想通り前半36秒5のハイペース。中盤も12秒台を刻みながら、後続を寄せ付けず直線へ。2番手キープしていた⑤グラツィア・濱中騎手も、もう手応えに余裕はなかった。唯一詰めてきたのは3番手に居た船橋の⑩サミットストーン・吉原騎手。必死に追い上げるが、差は詰りそうで詰らない。3/4身まで詰め寄ったところがゴールだった。3角でスツと動けなかったのも、現状での力の差。斤量差(4キ)をしてのものだけに完敗だったが、乾いた馬場だったなら...、の思いは残った。馬場が味方したとは言え、58キ②エーシンモアオーバーのレコード勝ち立派のひと言だった。